

2020年10月27日

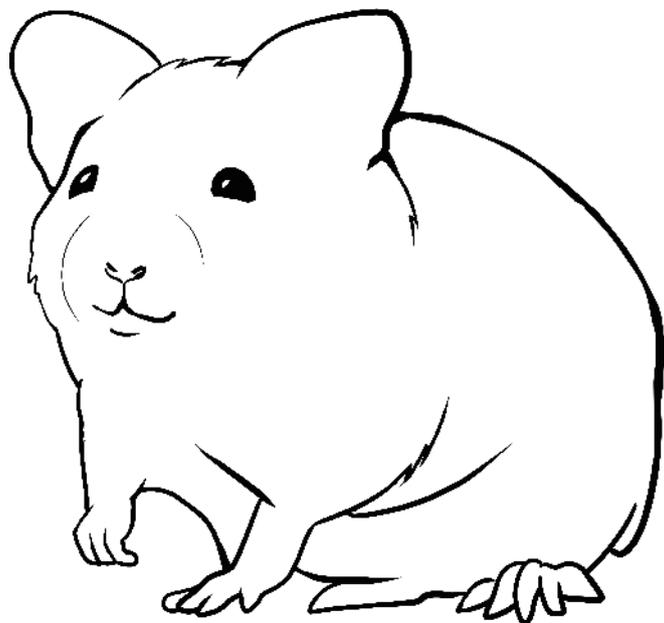
崎山 直樹 様

イラスト添削

秘莉まよね

<https://himeri.com/>

さっせくイラストを描いていきましょう



最初から難しいことをご説明すると敷居が高くなりますので、このハムスターを描きながら、絵の描き方をご説明しますね。最初は線画だけで描いてみます。色は後ほどご説明します。

道具



最初に「線画を描くための道具」を準備しましょう。

- ・線を描くもの
- ・紙
- ・消しゴム

をご用意下さい。高いものは必要ありませんので、最初は100均等で揃えて、必要になった時に買い足す形で大丈夫です。

紙

色を塗ったりする場合、薄い紙ですと水でフヤケて波々になってしまいますので、ケント紙や画用紙、色紙ですと、あまり波打たないです。

練習用で使う場合は100均のノートやスケッチブックでも問題ないので、何枚も描いてノートが埋まるのと上達レベルを見比べて楽しんで下さい。



濃さの早見表

B6	濃い(柔)	HB	一般的な濃さ
B5	↑	F	↓
B4		H	
B3		H2	
B2		H3	
B		H4	
HB	一般的な濃さ	H5	↓
		H6	薄い(硬い)

描くもの

鉛筆やシャープペンシルをご用意下さい。

鉛筆やシャープペンシルは、番号によって硬さや濃さが違います。

硬い鉛筆ですと強く描いたら紙が凹み、柔らかい鉛筆ですと色が濃いために着彩時に色が残ります。ご自身の筆圧に合わせてお使いになると良いかと思えます。

キャラクター等フチをハッキリした色で描きたい場合は耐水性のペンでフチをナゾります

消しゴム

普通の消しゴムでも十分ですが、「線を少し薄くしたい」とか、「本格的にデッサンからやってみたい」という場合は、「練り消しゴム」という柔らかい消しゴムを使います。

上から線を練り消しで抑えることで、下の色が薄くなり、形も自由に変えられるので、コロリのように細くして細かい場所を消すことが出来ます。

100均にもありますが、女兒向けのファンシーな色付きですので、ネットや文具屋で白い練り消しの方がオススメです。

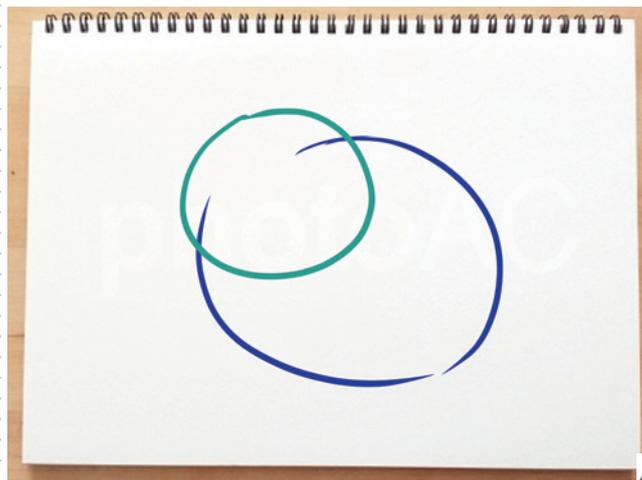


では、はじめましょう



まず最初は、絵を楽しむところから初めます。描きたいモチーフの写真を用意したりして描くものを決めてくださいね。

練習時は、ノート(スケッチブック)、着彩まで進める場合は画用紙(ケント紙)を用意します。



こんな感じで迷い線を
いっぱい付けて大丈夫です ^^



鉛筆で、大体の顔の位置と体にア
タリをつけます。

(わかりやすいように色を変えて
いますが、そのまま鉛筆で大丈夫
です。)

最初から直接輪郭を描かず、ア
タリをつけて描くようにすると、
デッサンが狂いにくくなります。
何を描くにしても、アタリを描く
ようにクセをつけていきましょう



POINT

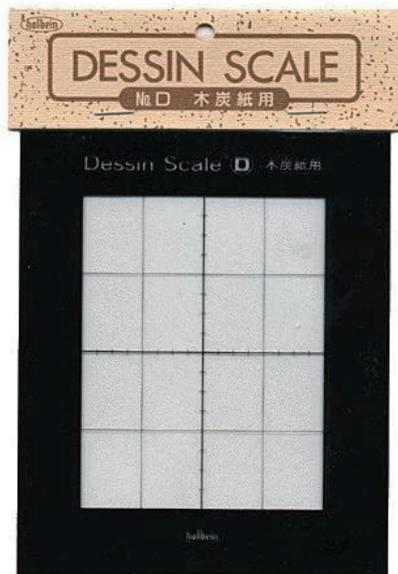
ハムスターは種類にもよるけど 立ち上がった時は3等身、
普段は2~3頭身くらいで描くとバランスが良いよ



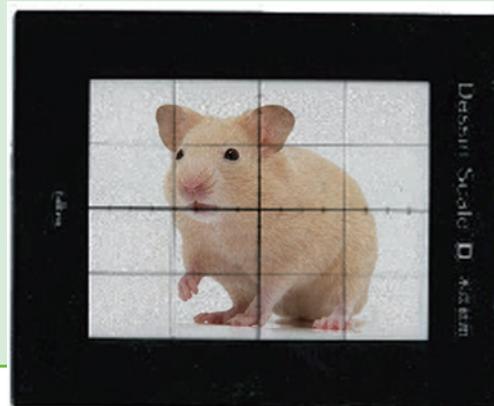
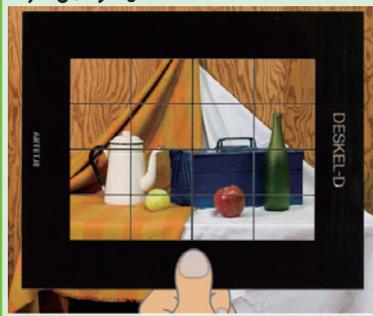
足や耳を描いていきます。

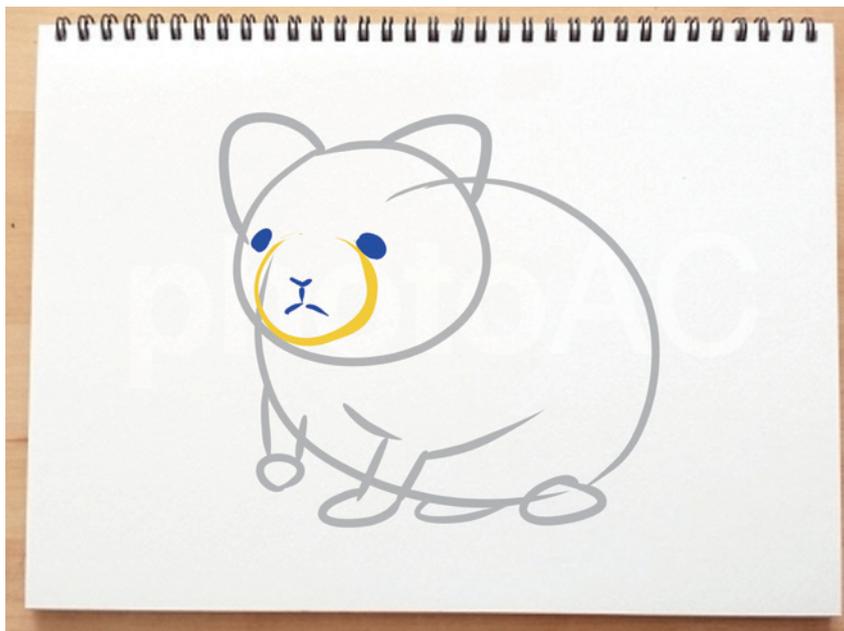
頭と体を目安に、パーツを描いて
いくのですが、「足の場所は体の
どのぐらいの比率の場所にあるの
か」…等と考えて描いていくと、
バランスが取りやすいです。

動物だけでなく、花や風景を描く
場合も比率を考えると良いです
よ。

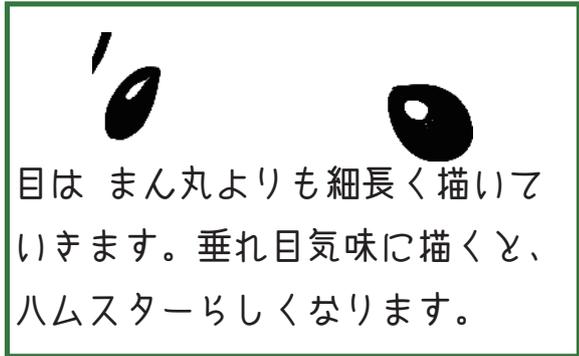


ちなみに、画材屋では「デッサンスケール」というもの
が売っています。枠に定規のような線が引いてあるもの
で、そこから覗いて比率を参考に絵を描くアイテムにな
ります。

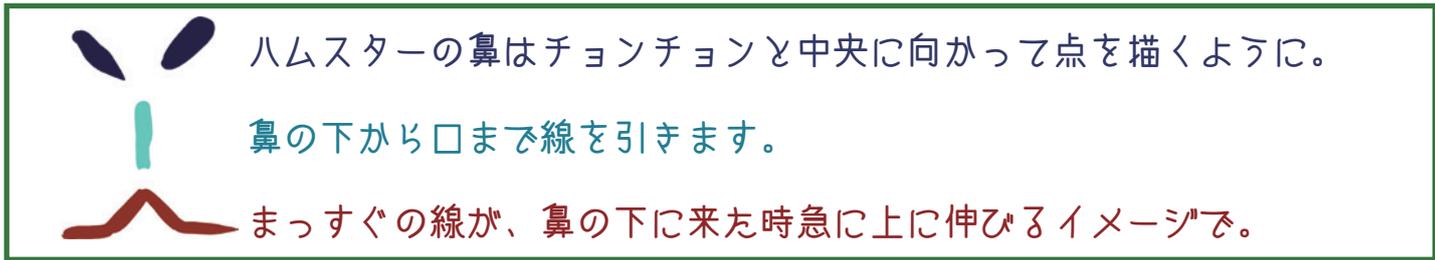




顔の部分を描いていきます。
まず、鼻の周りのフックリした部分のあたりを描いて、鼻と口、目を描いていきます。



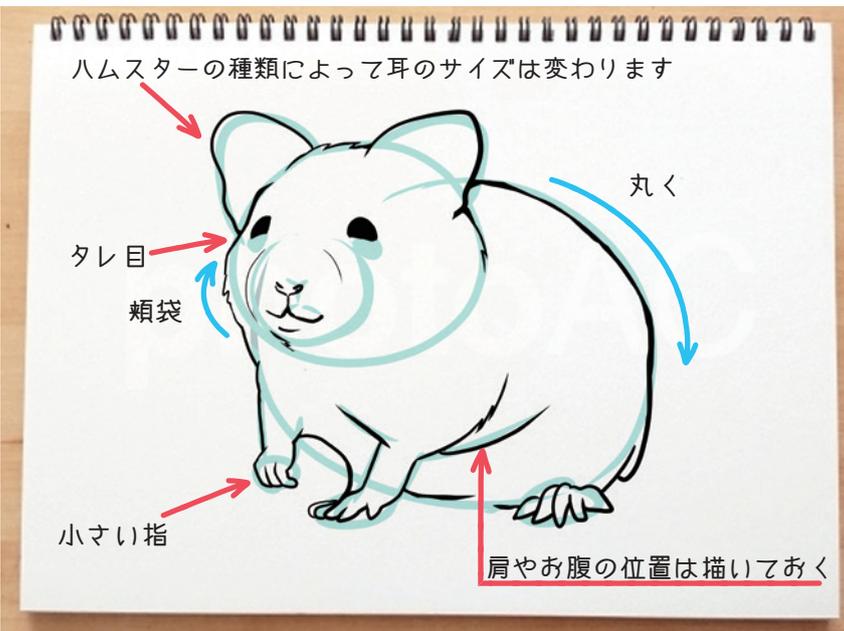
目はまん丸よりも細長く描いていきます。垂れ目気味に描くと、ハムスターらしくなります。



ハムスターの鼻はチョンチョンと中央に向かって点を描くように。

鼻の下から口まで線を引きます。

まっすぐの線が、鼻の下に来た時急に上に伸びるイメージで。



ハムスターの種類によって耳のサイズは変わります

丸く

タレ目

頬袋

小さい指

肩やお腹の位置は描いておく

ここまで描いてきたあたりを参考に、輪郭線を他の線より濃く描いていきましょう。

あたりの線が気になるようなら、練り消しで薄くしたり、輪郭を描いた後八ミ出た部分を消しゴムで消して下さい。

写真や実物を見ながら、その柔らかさや毛並みをイメージして描いていきます。

イメージして描くと、不思議なことにテクニックを使わなくても柔らかさが表現できるので、愛を込めて描いてくださいね。

輪郭に少し毛並みを描き足したり、輪郭以外にもほっぺや腕の形や描いておくと色を塗る時にわかりやすいよ。手や足は小さいめに、かわいい指を描いてあげてね。



ここまでが一連の流れなので、バランス良く描けるまで、あたりと輪郭を練習すると、好きなポーズが描けるようになりますよ。

水彩で色を塗ってみましょう



先程のハムスターに色を塗っていきましょう。

水彩の他に色鉛筆もご検討頂いていましたが、手軽な反面、ご自身に合ったシリーズを見つけるのがなかなか難しい画材ですので、良い商品に辿り着くまで結構お金がかかります。なので、今回は手軽に水彩をご説明させていただきますね。

道具

水彩を塗るために必要なものです。

- ・ 水彩絵の具
- ・ 筆
- ・ パレット

- ・ 筆洗
- ・ 雑巾

をご用意下さい。

丸筆

一般的な形状で主力。他の筆が揃わなくてもコレはご用意下さい



面相筆

細かな所や毛並みを表現するのに必要です。



平筆

空や背景など、広い範囲をムラなく塗る為の筆。



筆

筆は色々な形や素材があるので、好みのものを見つけて描いて頂くのが良いのですが、可能であれば高くて良いものをご用意下さい。

水彩用のもので、柔らかく絵の具をしっかり含み、毛が抜けにくいものが良いです。絵のクオリティも、描き心地も変わります。(特に毛が抜ける筆を使うと描く時に、ストレスになり、絵にもアトが残ります)形状は「丸筆」「面相筆」「平筆」をサイズ違いで2~3本有れば足りるでしょう

水彩絵の具

水彩絵の具には色々種類があります。ご説明が長くなるため、材料集めを楽しんで頂けると嬉しいですが、途中で嫌になった場合は「固形水彩絵具」をお使いになると、片付けや準備が楽です。



bicosya.com

水彩絵の具の種類

水彩絵の具とは、水で溶かして使える絵の具の事なので、描き心地だけでなく、特徴や形状も色々あります。透明水彩とガッシュは表現自体が変わりますので、間違っって希望のモノ以外を買わないようにしてくださいね。

透明水彩絵の具

一般的な水彩絵具で、色水のような感じです。下の色や線が透けて見えますが、上から薄い色を乗せることが出来ないため、色を塗る場合、薄い色から徐々に濃い色を塗っていきます。



不透明水彩絵の具

ポスターカラーやアクリルガッシュと呼ばれる絵の具です。下の絵が透けず、上から薄い色も重ねられますが、一度乾いた絵の具は再度水で濡らしても溶けないので、色の作り置きは出来ません。



水彩色鉛筆

一見色鉛筆のようですが、色鉛筆で塗った後水筆で撫でると透明水彩のような表現になります。

筆ペンの墨部分に、水を入れて使う「水筆」というものがあるので、それを使うと便利です。



絵の具の形状

使いやすさや金額でお選び頂いて構いません。外へ持ち出す場合や簡単にし入れする場合は固形、発色の良さはチューブです。美術学校での使い方↓

チューブ型絵の具

よく見るタイプの絵の具です。発色などが良いですが、その代わり持ち運びがしにくいです。



固形型絵の具

パレットに固めた状態で売っているタイプです。半生タイプと乾燥タイプがありますが、発色や使い心地はパンカラーという半生タイプが良いです



私は「ホルベイン」のチューブタイプをパレットに出して固めて使っています。好きな色を選んでセットに出来、半生タイプの固まり方になるので使い心地も良いです。



パレット

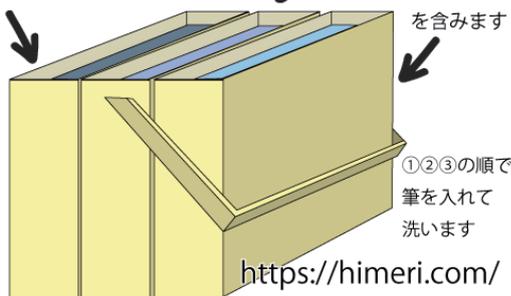
チューブタイプの場合は必要です。

透明水彩は、チューブの黒を使うのは邪道とされていますので、黒を多めに作って置けるよう混ぜる場所が広い方が使いやすいです。

①まずココで洗って絵の具を落とす

②ここでスグいます

③きれいな水を含みます



筆洗

形状はお好きなものを選んで頂いて良いです。水を使うと汚れるので、水を変えるのを減らす工夫をします。←の図のような使い方をしたいので、なるべく8つ以上、水を入れる場所がある方が良いでしょう

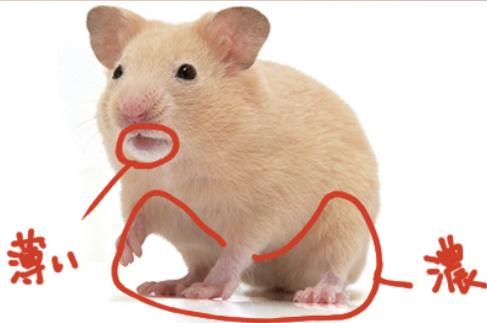
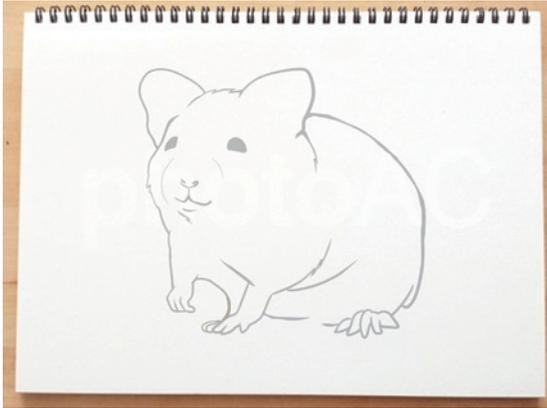
雑巾

筆についた絵の具や水を吸い取るために必要なので、水彩専用の雑巾を用意します。

水彩で塗っていきましょう



今回は、ぼかしや滲み等のテクニックなどは使わず、普通に塗っていきます。
まずは筆を使うことに慣れるところから進めて下さい。



気に入った輪郭が描けたら、次は色を塗っていきましょう。ただ、個人で楽しむ場合は良いのですが、水彩の基本的なルールとして「黒は自分で混ぜて作る」「白は使わない」というのが決まり事としてあります。

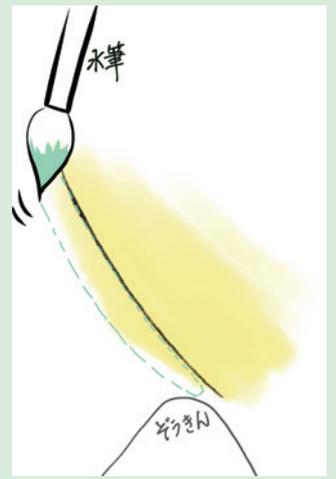
今回は、黒は使って頂いて構いません。
白を混ぜると汚くなるので、避ける方が良いでしょう。

まず、薄い色から塗っていきます。

絵の具は黄色が薄い色になります。

水を多く含むほど薄い色になりますので、はみ出さないように色を塗っていきます。

はみ出た部分は、水だけを含ませた筆で上から軽く撫でると、絵の具が溶けるので、雑巾で吸い取ります（白の絵の具は絶対に使わないで下さい。汚くなります。）



キンクマハムスターは薄い茶色の毛並みなので、赤と黄色を混ぜて丁度いいオレンジを作って乗せていきます。この時、濃くなりすぎないように水で薄く塗って行って下さい。

濃くしたい場所は、乾いたら塗り、また乾いたら塗りを繰り返すことで、少しずつ色が濃くなります。



乾ききったら広い面はムラになるので細かなところは面相筆、広い面は丸筆を使って、手早く塗っていきましょう



手の先、鼻の頭、耳が赤っぽいので、赤を薄くしたものを、何度か塗って色を付けます。

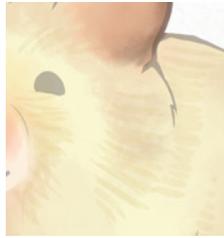


下地が出来てきたので、濃い色も置いていきます。

焦げ茶や黒（赤と緑を合わせると黒が出来ます）で、影や耳などに薄めて乗せていきます。



チューブの黒のような人工的な色より深みのある黒が出来ます。

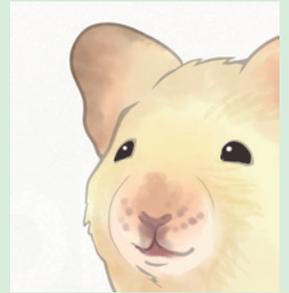


慣れてきたら、面相筆で毛並みを描くのも良いかもしれません。



目や鼻を描き入れて終了です。

必要であれば、目に白のボールペンやアクリル絵の具で光を入れても良いですね。



ちなみに、輪郭をペンなどで引くと、違った印象の絵になります。

絵がハッキリするので、何かの挿絵に使う場合はコチラも面白いかと思います。



以上で、今回の講座は終了です。

まだ初心者でいらっしゃるので、基本的な形のとり方や道具の使い方をメインにご説明させて頂きました。難しい点は省きましたので、水彩のテクニックやアイテム、他の動物の描き方などまでにはご説明しきれませんでした。このポーズのハムスターは描けると思います。ここから徐々に詳しい描き方などをご説明させて頂ける機会を頂ければ幸いです。

最後までお読みくださりありがとうございました。

今後の崎山様のイラストのご上達、応援しています。

京イラスト 秘莉さとね

<https://himeri.com/>

 @himerisatone

2020年11月20日

崎山 直樹 様

イラスト添削
ブラッシュアップ。

秘莉まよね

<https://himeri.com/>

今回こちらのイラストを添削させて頂きました

ココが素敵!



表情が可愛いですね!

目がちゃんと平行位置にあって、正しい形になっていますね

色の濃淡がついて
いますね!

小さな手がとても可愛いです^^

しっぽが可愛いです

イラストのご提出ありがとうございます。

はじめてとの事ですが、キレイに描けていらっっしゃいます。下書きの線を消して描かれているので、途中で形が取りにくく難しかったと思いますが、手など細かな部分もしっかり描かれていて可愛いですね ^^

お顔も、初心者の方は左右対称に描くのが難しい方もいらっしゃるのですが、崎山様はとても可愛く描かれています。

ポーズも不自然さがなく、正しく描かれていると思います ^^

ココが惜しい!



耳はもう少し

開いた形のほうが

ハムスターらしさが出ますよ



背中をもう少し

ふんわりさせましょう



お腹をもう少し

ふっくらさせましょう



もう少し、

形をはっきりさせるために

面相筆を使いましょう

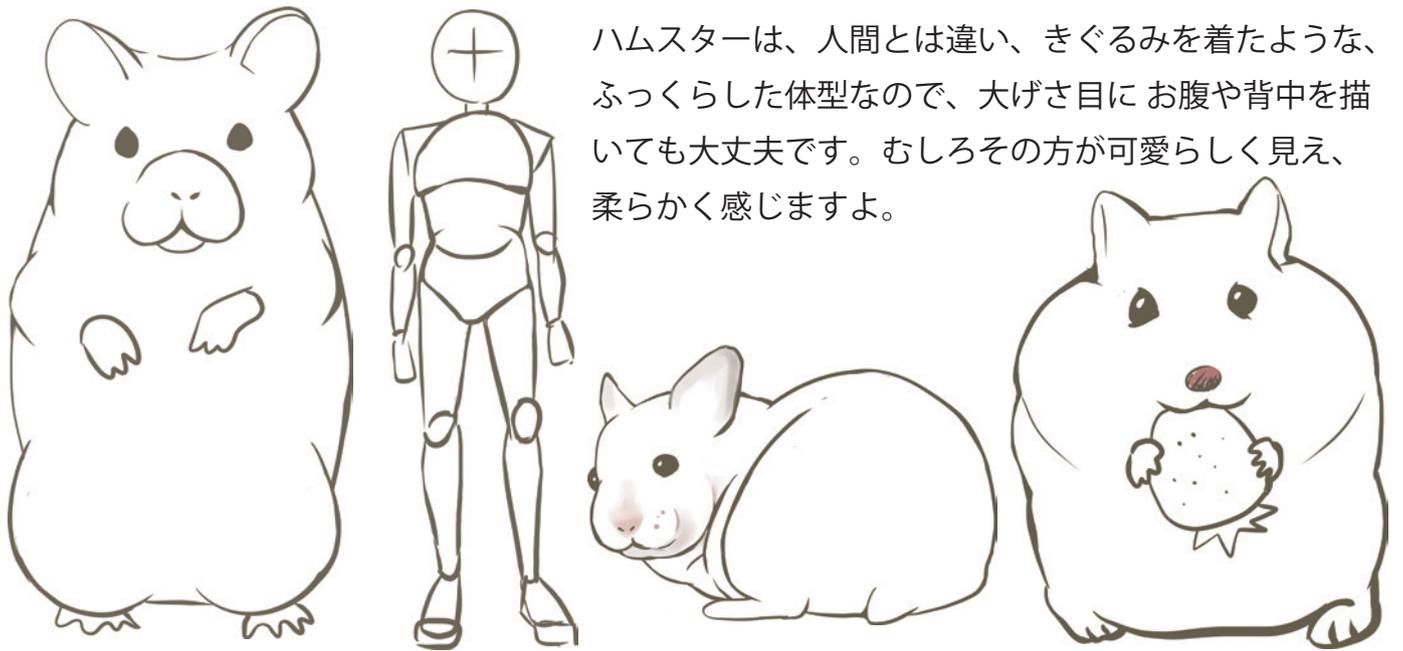


ハムスターにはスリムな形なので、「ふっくらさせること」と「塗りがボヤケている点」を修正していくと、今よりもっと、可愛くなりますよ。

まず、最初のアタリをとっていく時に、形をシンプルに描いていくと良いですよ。最初は顔などから描いてしまいがちです。ですが、大きな丸を並べて、頭部の大きさはコレ、体の大きさはコレ、手はこのくらいで…など、全体を見ながら配置していくことで、体の大きさを正しく取りやすくなります。

塗りは、下塗りの場合下書きの線を信じて、一気に塗ってしまったほうがスッキリします。時間がかかると途中で乾くのでムラになる原因となります。意図した箇所であれば、筆の線を残さない方がキレイに仕上がります。細かな影や色合いは乾いてから塗ると、滲まずに描き込めますよ。

体のバランス



ハムスターは、人間とは違い、きぐるみを着たような、ふっくらした体型なので、大げさ目にお腹や背中を描いても大丈夫です。むしろその方が可愛らしく見え、柔らかく感じますよ。

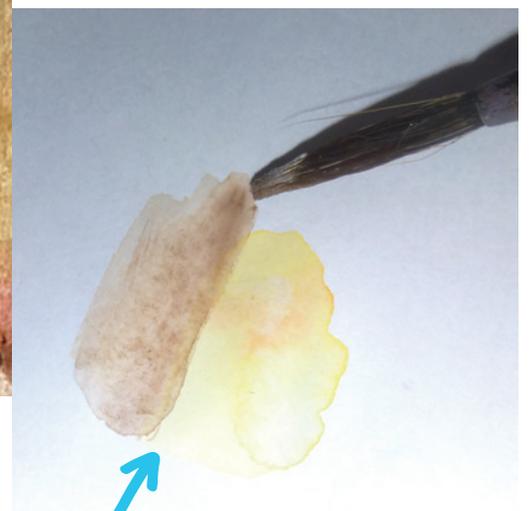
色の塗り方

鉛筆の線を消してくださっているので、線がなく綺麗な仕上がりですが、形が狂いやすいです。全ての線を消してしまう前に、スマホやカメラで下書きを保存しておく、形の確認がしやすく便利です。



下書きの線がないことで、全体的にぼやけているので、顔や足の境目は、面相筆で細く塗り、境目をハッキリ点せましょう。

塗り方のコツとしては、下地の色が乾いてから、パサパサにならない程度に絵の具を吸った面相筆で、線を描くように塗ります。



黄色と茶色の境目がハッキリしています

目の塗り方



目は、ハッキリと丸く描いたほうが可愛いので、慣れるまでは周りを耐水性のペンで引いて塗りつぶすとキレイになります。



①下地と下書き



②耐水ペンでフチを描きます



③塗り潰します
(ペンでも水彩でもOK)

鼻の色味



鼻の部分ですが、黒で描いてしまうと、他より浮いて見えてしまうので、有れば「茶色のペン」で描かれると馴染みますよ。

耳の色味



右の耳は、内側が黒く、左の耳は外側が黒いので、色を統一した方が説得力のある絵になります。



両方、耳の中を暗くしました。



修正後

崎山様の絵を少し手直しさせて頂きました。ほとんど同じままですが、
体つきでかなり印象が変わって見えると思います。顔など、このまま
で十分可愛いので、あとは、耳の位置にお気をつけられるとハムスター
らしさが出てきますよ。

最後までお読みくださりありがとうございました。

またご機会ございましたら、どうぞ宜しくお願い致します ^^

京イラスト 秘莉さとね

<https://himeri.com/>

 @himerisatone